

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年 3月30日

計画の名称	尾道市公共下水道			
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)	交付対象	尾道市	
計画の目標				

污水管の整備に伴い、増加する汚水量に対応するため、尾道浄化センター内の水処理施設を1池増設する。

計画の成果目標（定量的指標）

污水管の整備に伴う汚水量の増加に対応するため、水処理の池数を平成29年度に2池から3池に増設する予定である。そのため、平成27年度末までに水処理施設の躯体の整備及び電気、機械設備の製作を行う。おのみち地区し尿処理場の能力超過分の浄化槽汚泥を尾道市浄化センターで受け入れ処理（MICS事業）を行う。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値	中間目標値	最終目標値							
	(H25当初)		(H27末)							
水処理施設増設の進捗率 整備完了施設/躯体の整備及び電気、機械設備の製作	0%		100%							
汚水処理施設共同整備事業 汚泥混合調整槽、送泥装置の設計	0%		100%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	951百万円	A	933百万円	B	0百万円	C	18百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.9%

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
本市都市部内組織及びMICS関連組織にて評価を実施	平成28年度（事業終了後）
	公表の方法
	尾道市公式ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
A-1-4	下水道	一般	尾道市	直接	-	汚水	新設	尾道市浄化センター	B系水処理施設（機械、電気、土木）	尾道市						902	
A-1-5	下水道	一般	尾道市	直接	-	汚水	新設	尾道市浄化センター	汚泥濃縮機（設計）	尾道市						19	
A-1-9	下水道	一般	尾道市	直接	-	汚水	全種	尾道処理区全体計画	全体計画の見直し	尾道市						11	
A-1-10	下水道	一般	尾道市	直接	-	汚水	新設	汚水処理施設共同整備事業	汚泥混合調整槽（設計）	尾道市						1	
合計																933	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
C-1-1	下水道	一般	尾道市	直接	—	水洗化促進支援	排水設備の接続推進補助	助成戸数 約280戸	尾道市						13	
C-2-1	下水道	一般	尾道市	直接	—	新設	汚水処理施設共同整備事業	送泥装置整備（設計）	尾道市						5	
										合計				18		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
C-1-1	水処理施設の増設に伴い、当面は処理能力に余裕が生じるため、接続推進を行い早期の流入水増加を図り、下水道経営を健全化にむける。															
C-2-1	下水道事業A-1-10と一体的に整備することにより、浄化槽汚泥を含めた効率的な処理が出来る。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画期間である平成23～27年度工事として水処理施設の躯体建設及び電気、機械設備の製作を完成させた。</li> <li>本計画期間である平成23～27年度までに汚水処理施設共同整備事業 汚泥混合調整槽、送泥装置の設計を完成させた。</li> </ul>										
II 定量的指標の達成状況	指標① 水処理施設増設の進捗率	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因								
		最終実績値	100%									
	指標② 汚水処理施設共同整備事業	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因								
		最終実績値	100%									
			最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因							
			最終実績値									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)												
3. 特記事項（今後の方針等）												
次期計画において		<ul style="list-style-type: none"> <li>尾道市浄化センターにおいて、下水道整備により増加する汚水で処理能力の超過が予測されるため、B系1池を完成させ処理能力を上げる。</li> <li>おのみち地区し尿処理場において、処理能力を超過する浄化槽汚泥を、公共下水道で受け入れ処理を行うため、MICS事業により関連施設を完成させる。</li> </ul>										

# 社会資本総合整備計画

平成29年 3月30日

